

ベトナム南北海底光ケーブル整備事業コンサル (円借款事業)

JTECは、2004年11月より、ベトナムにおいて国内通信用の海底光ファイバーケーブル整備事業(Vietnam North-South Submarine Fiber Optic Cable Link Project)のコンサルティング業務を実施しています。その事業概要は以下のとおりです。

1. 事業の背景

ベトナム政府から日本政府へ事業の要請があげられた2000年代初め、ベトナムにおける通信需要は急増し、固定電話加入者数は1992年で約18万人(普及率0.3%)であったのに対し、2000年末では約256万人(同3.3%)に達した。携帯電話の加入者数も、1994年で約3,200人程度であったものが、2001年末で約130万人(同1.7%)に達し、更に1998年頃に普及し始めたインターネットの利用者数も、2001年末時点で25万人(同0.3%)と急速な増加を遂げていた。急増する通信需要に対し、ベトナム政府は既存施設の容量増設をもって当面の通信需要に対応しようとしたが、既存施設は台風・大雨等の自然災害等によって切断されるなど、通信設備の信頼性は低い状況にあり、また、通信需要への対応の観点から、通信設備の容量拡大及び信頼性改善がベトナム通信セクターの喫緊の課題となっていた。そしてその課題解決のために、日本政府の支援により国内海底光ファイバーケーブルの整備が実施されることになった。

2. 事業の内容

本事業はベトナムのハイフォン～ソックチャン間に約2,000kmの海底光ファイバーケーブル及び11ヶ所の陸揚局等を整備することにより、ベトナムの通信需要の増加への対応及び通信設備の信頼性向上を図ることを目的とするものである。借款資金は機器調達、据付、及びコンサルティングサービス等に充当され、事業実施者はベトナム郵電公社(Vietnam Posts and Telecommunication Corporation: VNPT)である。

JTECはKEC(現在KDDI財団)と本事業のコンサルタント業務を共同受注し、現在、ベトナム郵電公社の支援を行なっている。

以上